

## 2017年度以降入学者用

(学生証番号の先頭2桁が「17」「18」「19」「20」の学生用)

# キャリアデザイン学部 2017年度以降入学者 カリキュラム

**重要!** 卒業要件や履修科目は、入学年度によって異なります。  
必ず自分が該当するページを見てください。

★カリキュラム以外にも、「キャリアデザイン学部生共通項目」や、  
「市ヶ谷共通項目」のページがありますので、併せて確認してください。

# 卒業するためには

卒業して学士（キャリアデザイン学）の学位を得るためには、在学年限内にILAC（アイラック）科目と専門科目について下記の単位規定をすべて満たさなければなりません。

## 卒業所要単位（2017年度以降入学者用）

科目系列				必要単位数			
I L A C  ( アイ ラ ッ ク ) 科 目	1 0 0 番 台	基 盤 科 目	0群	必修	2単位 (基礎ゼミ)	16単位 以上	24単位 以上
				選択			
			1群	選択 必修	4単位以上		
			2群	選択 必修	4単位以上		
			3群	選択 必修	4単位以上		
			5群	必修	2単位 (スポーツ総合演習)		
	選択	上限2単位					
	外国語科目	4群	英語	必修	4単位以上	8単位 以上	
			諸外国語*5	必修	4単位以上		
	2 0 0 番 台	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	0群	選択		6単位 以上	
			1群	選択 必修	2単位以上		
			2群	選択 必修	2単位以上		
			3群	選択 必修	2単位以上		
			4群	選択			
5群			選択				
外国語科目	4群	英語 諸外国語 共通*6	選択				
専 門 科 目	学 部 専 門 科 目	基 幹 科 目	必修 (キャリアデザイン学入門) (キャリア研究調査法入門)	4単位	20単位以上		
			選択必修 (キャリア研究調査法)	2単位以上			
			選択必修 (入門系科目)	6単位以上*1			
			選 択				
	展 開 科 目	52単位以上 (*1で選択した領域から、36単位以上含む) (体験型選択必修科目4単位(1ペア)以上含む)					
	演 習 科 目*2						
	関 連 科 目						
	自 由 科 目 *3	他学部公開科目					
		ERP科目*4					
		ESOP科目*4					
グローバル・オープン科目							
インターン・ボランティア*4							
短期語学研修*4							

I L A C 科 目 ・  
専 門 科 目 合 計  
132 単 位 以 上

- \*1 基幹科目の入門系科目のうち、「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」から1つの領域を選択し、その選択した領域で6単位を修得しなければなりません。
- \*2 基幹科目（入門系科目）および展開科目で選択した領域と同じ領域を選択しなければなりません。
- \*3 自由科目は卒業所要単位として16単位まで修得可能です。
- \*4 グローバル教育センター設置科目です。必要手続きを経て単位認定を行います。
- \*5 留学生は、日本語を履修する。
- \*6 留学生は、英語（のみ）を履修する。

- 注意**
1. 学部専門科目は、基幹科目、展開科目、演習科目、関連科目に大別され、科目群によっては必修科目や選択必修科目があります。必修科目はすべて単位を修得しないと卒業の要件を満たしません。選択必修科目とは、予め指定された科目群の中から所定の単位数以上の修得が条件とされている科目のことです。
  2. I L A C 科目と学部専門科目のそれぞれ最低必要単位数を合計すると108単位(=36+72)になります。

卒業所要総単位数との差24単位（=132-108）については、I L A C科目、専門科目（学部専門科目および自由科目）のいずれから修得しても構いません。

3. 休学者の進級および卒業については別掲「市ヶ谷共通項目」の「学籍」のページを確認してください。
4. 3年次終了までに卒業所要単位を修得していても、4年次に4単位以上を修得しなければ卒業することはできません。（進級に関する規程参照）
5. 必要単位数欄が空欄になっている系列の科目は、仮に単位の修得がなくても他の系列の科目によって右側に示されている必要単位数を修得していれば卒業の要件を満たせることを表しています。

(※) 前ページの「卒業所要単位」の表は各「科目系列」ごとに科目を履修し合計して何単位取得すると卒業要件を満たすかを示したものです。さらにそれらの科目のうちに4単位分の「**体験型選択必修科目**」を含んで履修し単位を取得することも併せて卒業要件となっています。それらの科目は後述の「体験型選択必修科目」一覧表に示すものですが、春学期・秋学期とも表に示した科目をペアで、かつ「事前指導」や「I」を先に履修し単位を修得した後「実習」や「II」を履修しそれぞれ2単位、合計4単位取得することが卒業要件となります。これらのペア科目は定員を定めています。年度末のガイダンスに出席し、履修希望申請書を必ず提出してください。これらのペア科目は2年次から履修できます。できるだけ他の学部専門科目の履修に影響が少ない2年次に履修することを推奨します。

**「体験型選択必修科目」一覧**

年次	春学期+秋学期 でペアとなる科目		定員 (予定)
	春学期科目名 (各2単位)	秋学期科目名 (各2単位)	
2年～	キャリアサポート事前指導	キャリアサポート実習	20×4クラス
	キャリア体験事前指導	キャリア体験学習	25×4クラス 32×1クラス
	キャリア体験事前指導 (国際)	キャリア体験学習 (国際)	10×2クラス
	多文化教育 I	多文化教育 II	50
	メディアリテラシー実習 I	メディアリテラシー実習 II	16
	地域学習支援 I	地域学習支援 II	35

**進級するためには**

キャリアデザイン学部において進級するためには、各年次2セメスター在学し、各年次で下記の単位規定を満たさなければなりません。1単位でも不足したり間違いがあったりすると、進級できないので注意してください。

**進級に関する規程（キャリアデザイン学部）**

- 第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに24単位以上修得していなければならない。
- 第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。ただし、SSI所属学生は第1号のみ適用する。
- (1) 第2年次修了までに48単位以上
  - (2) 基幹科目の必修科目（キャリアデザイン学入門）（キャリア研究調査法入門）
- 第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。
- (1) \*市ヶ谷基礎科目のうち4群及び5群の卒業所要単位
  - (2) 前号の単位を含め88単位以上
- 第4条 4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。但し、法政大学学則第49条第4項に定める場合を除く。
- 第5条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

\*進級に関する修得単位数に教職・資格科目（卒業要件外科目）は含みません。  
 ※2017年度以降入学者は、「I L A C科目」として履修します。

## <参考>

法政大学学則第49条

第49条 4ヵ年以上在学し、卒業所要単位を修得した者には、学士の学位を与え学位記を授与する。

- 2 前項の卒業の要件を充たした者の学位記授与は学年末に行う。但し、本人の申請により春学期末に行うことができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、秋学期に入学し、第1項の卒業の要件を充たした者の学位記授与は春学期末に行う。但し、本人の申請により秋学期末に行うことができる。
- 4 第1項の規定にかかわらず、3ヵ年以上在学し、卒業所要単位を優秀な成績で修得した者は学士の学位を与え、学位記を授与することができる。
- 5 前項の早期卒業に関する要件は別に定める。
- 6 前5項における卒業の確定日は、学年末は3月24日とし、春学期末は9月15日とする。

(以下、省略)

## 早期卒業について

キャリアデザイン学部早期卒業に関する規程（規定第927号）第2条

第2条 早期卒業を認める学生は、次の各号に定める要件を全て満たしていなければならない。

- (1) 3年次終了時まで卒業所要単位を取得し、かつGPAが3.0以上の者。
- (2) 専門科目および\*市ヶ谷基礎科目の修得科目のうち、それぞれ9割以上がA評価以上であること。
- (3) 3年次にキャリアデザイン学演習を履修、修得していること。\*\*\*
- (4) 卒業論文に準ずる論文や作品等を執筆または制作し、高い評価を得た者。

※2017年度以降入学者は「ILAC」科目として履修します。

\*\*\*2012年度以降入学者は演習（発達・教育）（ビジネス）（ライフ）のいずれか。

早期卒業の手続きスケジュール等

～10月下旬	早期卒業申請受付
12月中旬	卒業論文に準ずる論文・作品提出 *4年生の卒業論文提出期間と同様
2月上旬	早期卒業希望者に対する面接（口頭試問）
3月上旬	面接（口頭試問）の結果通知 *4年生の卒業発表期間と同様
3月24日	条件を満たした場合、卒業

\*詳細は掲示等でお知らせします。

## 履修登録が可能な単位数について

履修登録には次のようなルールがあります。

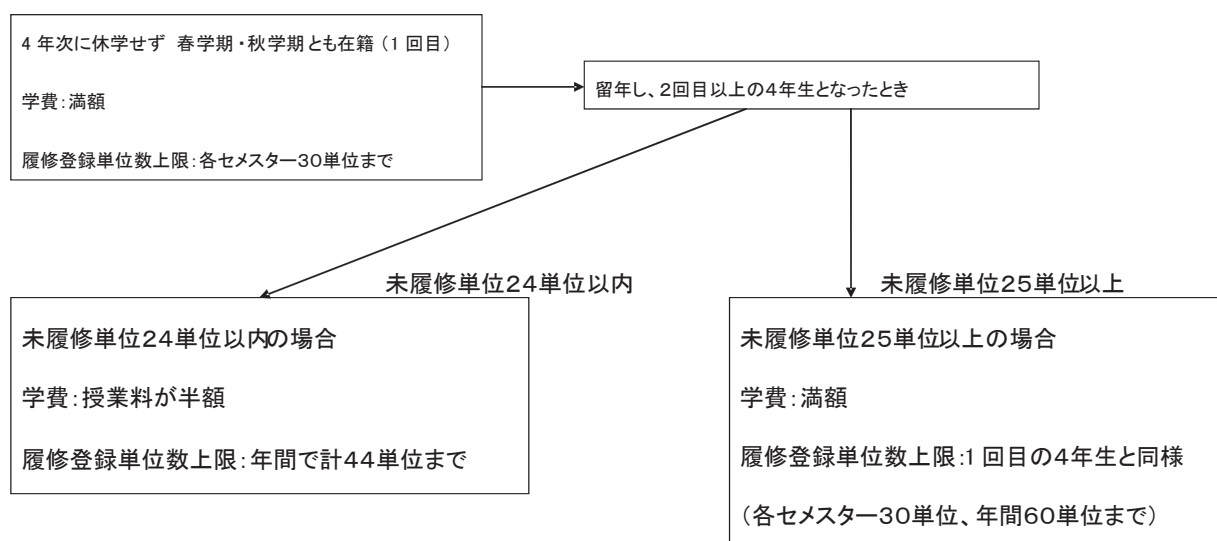
履修登録を怠ったり履修エラーを未修正で放置したりすると授業・試験を受けても単位は修得できませんので、注意してください。

### 2017年度以降入学者

4年次においてセメスターを2期在籍した学生で、留年して2回目以降4年生になった場合に履修登録できる単位数

- (1) 未履修単位24単位以内の場合：年間で計44単位まで
- (2) 未履修単位25単位以上の場合：各セメスターおよび年間の履修制限単位数まで

4年次においてセメスターを2期在籍した学生で、留年して2回目以降の4年生になった場合の学費および履修できる単位は、次のとおりです。



### 1 セメスター・年間の登録上限単位

各セメスターに履修登録できる単位数には上限があります。単位は週あたりの学習時間によって決められています。それゆえ、一定の期間に無制限に単位修得できるわけではありません。

キャリアデザイン学部では、各セメスターおよび年間（2つのセメスター）での履修登録において、科目の系列ごとに登録単位の上限を設けています。

### 2 単位数上限について

#### ① I L A C科目と専門科目

合計で、半期30単位・年間48単位を上限として、履修登録することができます。

#### ②教職・資格科目を履修する場合

教職・資格科目のうち、教職資格課程表や資格課程開設科目表（それぞれ教職課程履修要綱や資格関係科目履修要綱に掲載）上で、科目名に■が付いている科目は卒業所要単位とはなりません。

それらを履修する場合、上記①と合わせて半期30単位・年間60単位を上限として履修登録できます。

### 3 クラス指定・定員のある科目について

以下の科目は、原則としてクラス指定もしくは定員制が設けられているので、必ずしも希望通りの時間に履修できるとは限りません。

- (1) I L A C科目4群の必修外国語は、指定されたクラスで受講してください。
- (2) I L A C科目4群の選択外国語は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (3) I L A C科目5群の科目は、通常授業のクラス指定か集中授業のいずれかになります。
- (4) I L A C科目3群のサイエンス・ラボA/Bは、受講者数に制限があります。
- (5) I L A C科目のうち、履修者が大人数となる授業については抽選があります。詳細については学部- (20) ページからの案内を読んでください。
- (6) 入門系の授業の受講は、クラス指定されている場合があります。
- (7) 国際コミュニケーション語学は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (8) 情報実習室を使用する授業は、受講者数に制限があります。
- (9) 体験型選択必修科目は受講者数に制限があります。
- (10) 上記以外にも受講制限を行う場合があります。選抜方法の詳細についてはweb掲示板や講義概要(シラバス)を参照してください。